

はかりがはま

# 波雁ヶ浜

- 所在地／山口県宇部市大字東岐波字水落
- 規模／幅 0.1～0.125km、長さ 0.4km、面積 4.96ha、樹齢 5～300年
- 指定／防風保安林
- 問合せ／宇部市産業経済部農林整備課 電話 0836-67-2816



## 立地環境

山口県宇部市の瀬戸内海沿岸に位置します。隣接する約90haの広大な東岐波の干潟や波雁ヶ浜遺跡の指定文化財は環境的、文化的にも貴重です。

## 松原の今昔物語

### 時代と共に変化してきた松林の再生

波雁ヶ浜は、台風のために砂が吹き飛び、収穫前の稲が被害を受けました。これを防ぐため、江戸時代の享保年間（1726年頃）に花園の野村又右衛門長之が、防砂林として潮風にも強く砂地でも生える日向松を植えたのが始まりだといわれています。

昔はスクドサデ（松葉集草）があり、松葉を集め家庭燃料として活用されていました。しかし、ガス・石油が主燃料となるにつれてスクドサデは行われなくなり、徐々に松葉が堆積し、雑草も増え、食卓に並んでいた松露（ショウロ）も見かけなくなりました。

2014年頃から松露をふたたび復活させようと、近隣住民のボランティアの方々（白砂青海よみがえさせる会など）や近隣の小・中学生の地域学習の一環として、地表に堆積している松葉などを集める清掃活動を行ってきました。現在（2024年）では生育環境が維持され、松露の発生が見られるようになり、松の樹勢も徐々に回復しています。

波雁ヶ浜は環境的、文化的な価値を有する宇部市の宝です。

文と写真：宇部市産業経済部農林整備課・(株)戸坂造園土木 戸坂隆男



羽衣の松

## COLUMN

老木の中に1本だけ変異によって五葉の松のような葉を茂らせ、松がまるで羽衣を羽織っているかのような変わった松があり「羽衣の松」と呼ばれ親しまれています。ほかにも「臥龍の松」、「らぶらぶの松」があります。

また、近隣住民や地域の小・中学生の長年の清掃活動により松露が発生するようになりました（本誌 No.586 参照）。散策ついでに見つけてみてはいかがでしょうか。

## ACCESS

### ●電車やバスの場合

新幹線「新山口駅」～JR宇部線「岐波駅」(22分)にて下車徒歩10分／山口宇部空港から徒歩15分 JR宇部線「草江駅」～JR宇部線「岐波駅」(16分)にて下車徒歩10分

### ●車の場合

山口宇部道路「宇部東」I.C. から国道190号方面へ（10分）

